

# 精神保健福祉士国家試験の在り方に関する検討会（第4回）

## 議事概要

- これまでの議論等を踏まえ、取りまとめに向けた見直しの方向性について議論。
  
- 主な意見
  - ・ 精神保健福祉士国家試験は、ソーシャルワークに関わる分野で就労するスタートラインに立つために必要な基本的な知識や技術について共通科目と専門科目の出題により問うものとし、より専門的かつ実践的な内容は資格取得後の実践で習得すべきではないか。
  
  - ・ 精神保健福祉士に必要とされる「基本的な知識や技能」に加えて「状況に応じて課題の解決につなげる力」を問うことができる出題を充実させるべき。
  
  - ・ 精神保健福祉士の養成課程における教育内容の見直しの内容や、社会的な精神保健福祉士の担う役割への期待の高まりと資格を有する者の更なる輩出、受験者の負担軽減の観点から、試験時間や出題数を可能な限り削減すべき。